

## 廃棄物の増加により環境汚染が深刻化する開発途上国の行政官 尼崎市でごみ収集・ごみ組成分析作業を体験

開発途上国では、人口の急速な都市集中と活発な消費活動による生活ごみなどの一般廃棄物の増加や工業化に伴う産業廃棄物が大気や水質の悪化、生態系の破壊といった環境汚染を引き起こし、適切な廃棄物の処理が大きな課題となっています。

国際協力機構関西センター（JICA 関西）は、8月19日～9月29日まで、廃棄物処理の実務にかかわる行政官を招聘し、日本の固形廃棄物対策の現状、廃棄物や有害物質の処理などの実務を学ぶ「廃棄物管理技術（基本、技術編（B）」研修を実施し、途上国における廃棄物処理システムの改善と廃棄物管理の効果的な実施を目指します。

9月4日は、研修員が尼崎市のごみ収集車に同行し、各戸やごみステーションからのごみを収集し、その後、収集した家庭ごみをプラスチックや紙類など品目別に分類、分析し、廃棄物管理計画への活用方法について学びます。熱心に学ぶ研修員への取材とインタビューを是非、ご検討ください。取材時には、日本語⇄英語通訳が入ります。

参加研修員： 4か国6名（バングラデシュ、イラク、パキスタン、セネガル）

日時：2018年9月4日（火）

9：30～12：00 ごみ収集現場視察（場所：尼崎市內）

12：45～14：00 ごみ収集車両の視察（場所：尼崎市大高洲庁舎）

14：00～16：00 ごみ組成分析作業視察

ごみ組成分析手法と廃棄物管理計画への活用

（場所：尼崎市クリーンセンター第2工場）

※視察は、尼崎市経済環境局環境部にご協力をいただいております。

取材をいただける場合は、事前にご連絡をお願いします。

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 関西 業務第1課 魚津 瑞穂

TEL 078-261-0383 e-mail : Uotsu.Mizuho@jica.go.jp